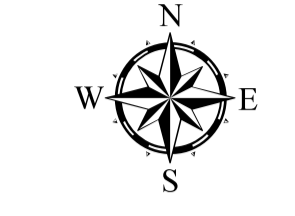
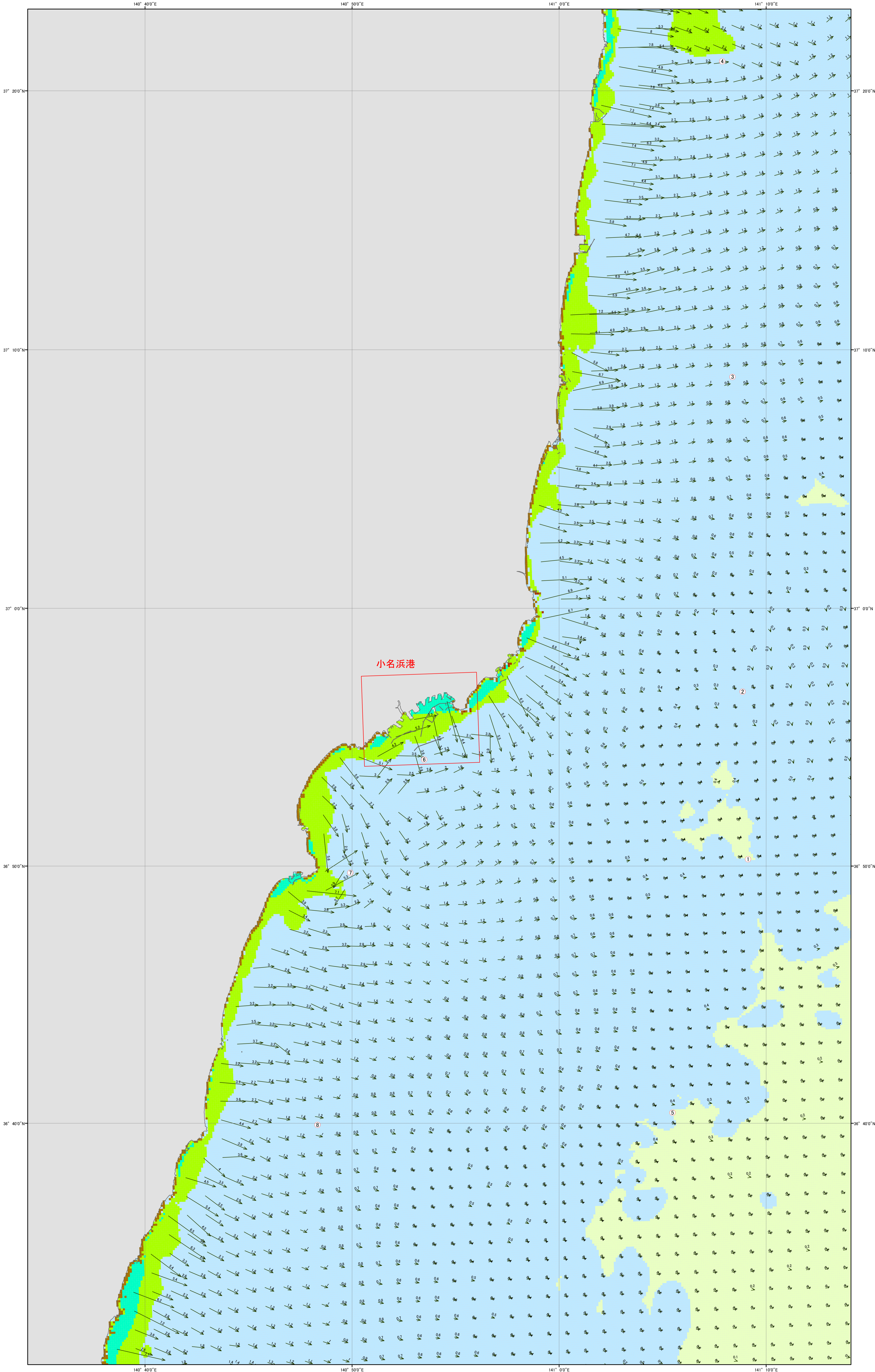


計算条件: 最低水面(零位)
隆起量: 平均 -0.16m(-0.50m ~ -0.05m)
Zo: 0.84m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



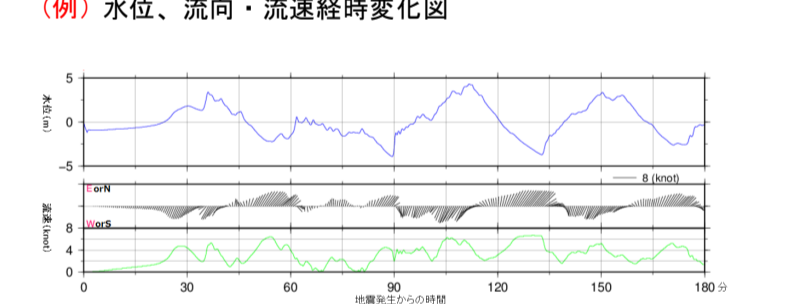
座標系:メルカトル図法
測地系:世界測地系 (WGS84)

凡例

最大水位低下

- 3~最大4.7m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で表示。)

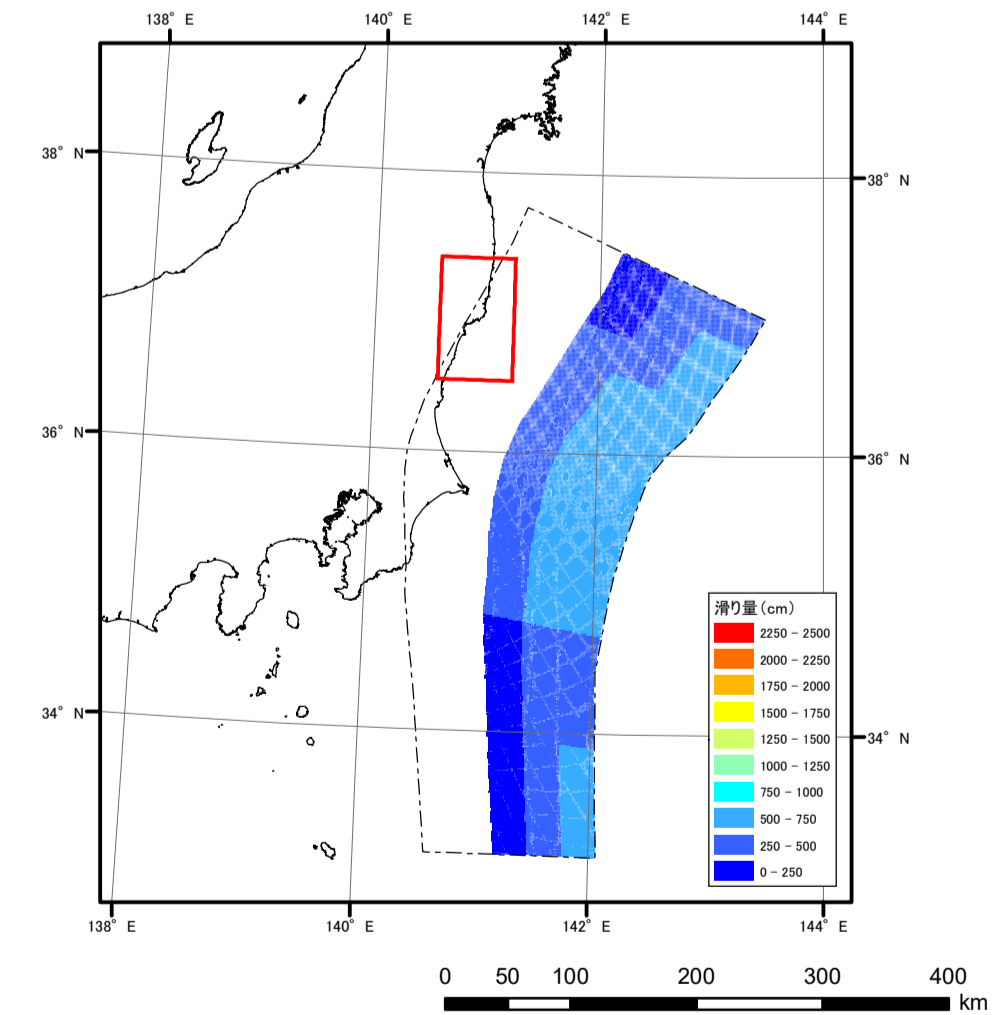


引潮時最大流 (knot)

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 流向、流速については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

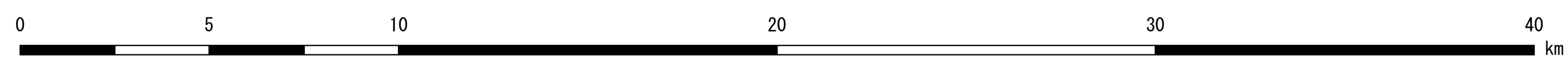
断面モデル



延宝房総沖地震

モーメントマグニチュード Mw	8.5
-----------------	-----

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ